



産直ニュース（農・畜・水産）1週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。生活クラブ関西

今後のお届け品スケジュール

配達日		お届け品目
1週	1/7 1/10	いちごAケース登録（金曜日：全事業所） いちごAパック登録（全曜日：全事業所）
2週	1/14 1/17	いちごB登録 いちご予約② ふじ⑦ みかん⑫ スイートスプリング①
3週	1/21 1/24	いちごA登録 いちご予約③ ふじ⑧ スイートスプリング② キウイ①（!）

※（!）は調整の可能性あります ※カタログ注文青果は除きます

■今後のよやく・る企画カタログ案内

・晩柑Ⅱ（ポンカン・不知火・清見オレンジ）⇒4週カタログ（1/14-1/17）にて案内

■いちごのお届け

今週のお届けは登録ケースが金曜コースのみで、登録パックは全てお届けとなります。予約（ケース・パック）は全曜日欠品となります。

■晩柑Ⅰのお届けは規格を変更してのお届けとなります。

2週よりお届け予定の晩柑Ⅰ（スイートスプリング・早生不知火・伊予柑）は、予想以上に収穫できる量が少なくなります。原因としては、昨年の10月・11月と全く雨が降らないことによる干ばつで、木が弱くなったことが考えられます。そのために、花を咲かせ果実をつくるよりも木の状態を回復するためにエネルギーが向けられました。さらに、暖冬による越冬カメムシが春先から活動したことで落果してしまったことも大きな要因です。

夏場の猛暑のみならず、年間を通じて大きく環境が変化していることで今までにないことが起こってきています。九州や四国の生産者は口を揃えて「今年は過去に経験したことがないほどの不作」とも言っています。

たくさんの受注をいただいておりますが、規格を下げてのお届けとなります。詳細は次週の産直ニュースにてお知らせします。

■愛媛の柑橘産地を青果委員会メンバーが訪問しました！

12/14-15に柑橘生産者である西日本ファーマーズユニオン（無茶々園）と福岡自然農園を訪問しました。伊予柑の出荷を控えていますが、不作のために1本に実が1個2個だけの木も所々に…。無茶々園の担当者曰く、「今年は不作で出荷を断った取引先もある。今後も農家の高齢化や栽培環境の過酷さで国内の果樹は減っていく。生産者が消費者を選ぶ時代が来ますよ！」とも。

定期的な組合員との交流や生産者カードのメッセージは大きな励みとなっています。厳しい状況の中でも、各生産者は期待に答えていくために、日々奮闘しています。



無茶々園の園地での写真